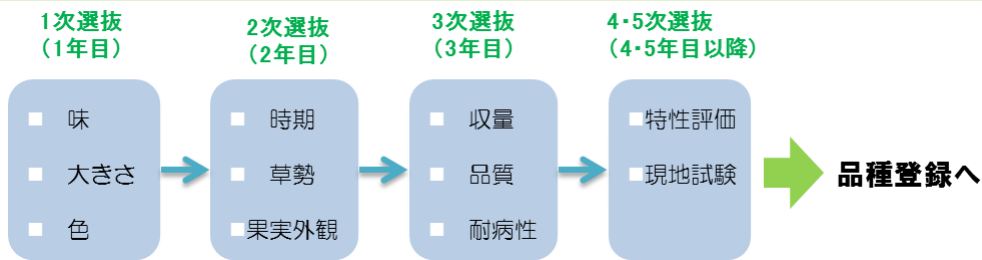


# イチゴ新品種 ‘あまりん※’ の育成

埼玉県では、都市圏に近い立地を生かした観光・直売のイチゴ経営が増加しています。そこでは、多彩なイチゴ品種が楽しめます。しかし、他県育成の品種で構成され、埼玉県独自の品種が無いことから、特徴あるイチゴの地域ブランド品種の要望がありました。

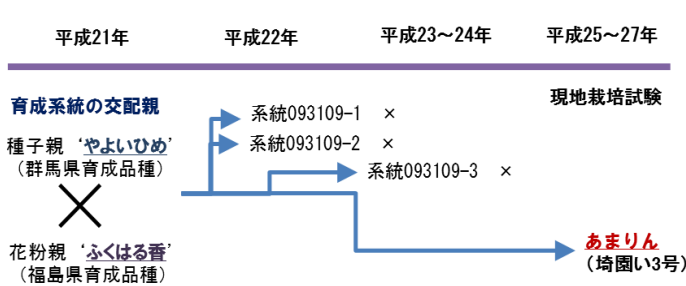
そこで、観光・直売に対応可能な高糖度・優良外観（果形、果皮色、光沢）等の優れた形質を持つ品種の育成に向け、平成 21 年から交雑・選抜を重ねてきました。その中で目標に沿った ‘あまりん（埼園い3号）’ を育成し、品種登録出願しました。

※ ‘あまりん’ は愛称です。



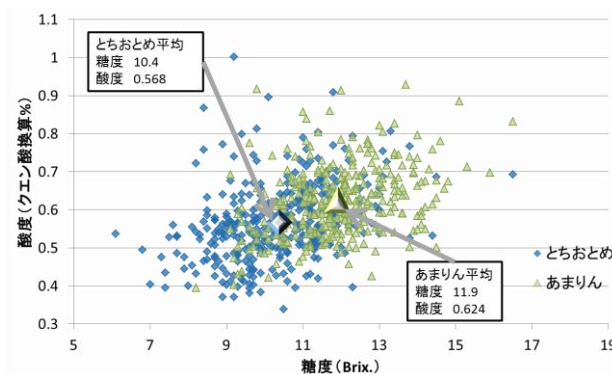
品種の育成手順

甘く ‘大きく’ ‘硬さ’ があり、 ‘たくさん取れる’ ‘病気に強い’ 品種を目標にしました。



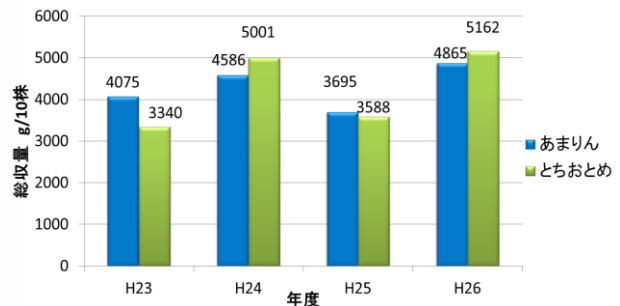
あまりん（埼園い3号）育成経過図

糖度が高くさわやかな味が特徴の良食味品種です。ランナーの発生が少ないなど、省力的です。観光・直売向け品種として平成 28 年 8 月に出願公表されました。



糖度・酸度散布図

‘あまりん’ の糖度は ‘とちおとめ’ を上回っています。



収量性（総収量）

‘とちおとめ’ と同程度の収量が見込めます。

(品種開発・ブランド育成研究担当 野菜研究チーム TEL 048-536-3090)